

大腸癌患者における腸内細菌叢に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年11月20日～2025年7月31日

〔研究課題〕

大腸癌の腸内細菌叢メタゲノム解析とリキット・ハイオプシーによる癌個別化診断

〔研究目的〕

便や唾液といった体への負担が少なく頻回検査が可能なサンプルを用いて、大腸癌の予測診断や早期診断、再発の予測診断、治療効果の判定法の開発を目指します。

〔研究意義〕

- ① 大腸癌の予測ができれば下部消化管内視鏡検査を早期に行う事により大腸癌の罹患率低下につながります。
- ② 再発の予測診断ができれば再発のリスクが高いかたに補助化学療法を行う事により予後を改善することが見込まれます。
- ③ 化学療法などの治療効果判定を行うにあたりまして、低侵襲で治療効果の判定が正確な方法が見つければ効果の無い化学療法を投与する期間を短縮し、すぐにあらたな化学療法を行う事が可能になります。

〔対象・研究方法〕

対象は帝京大学病院で大腸癌に対して手術を行う予定、もしくは帝京大学病院で化学療法を行う予定もしくは行った方です。大腸癌以外の疾患のために採取された試料も大腸癌に関しての対照として使用します。対照としての他の疾患の患者さんや健常者の方についても、二次利用に同意された患者さんの試料を対象とします。

〔研究機関名〕

研究の場所：帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本試験は守秘義務が法律で課せられており、プライバシーに係わる情報が外に漏れることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 医学部外科学講座 教授 橋口陽二郎

研究分担者： 医学部外科学講座 准教授 松田圭二

医学部外科学講座 病院准教授 野澤慶次郎

医学部外科学講座 講師 端山軍

医学部外科学講座 助教 島田竜

医学部外科学講座 助教 小澤毅士

住所: TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33702]